

# 決められない政治から脱するには

朝日新聞オピニオン編集長、論説主幹代理

星 ほし

ひろし 浩

- \*消費税やり抜いたことは評価
- \*偶然のなせるわざ
- \*増税先行で消費増税
- \*スペインでの1%の預金流出
- \*どう身を削るのか
- \*11月か12月に総選挙？
- \*誰が総選挙を指揮するのか
- \*橋下旋風の威力と限界
- \*多様な連立組み合わせ
- \*目を凝らして見る必要



浅野 それでは開会いたします。（拍手）今日あたりは少し涼しくなると見越して設定したんですけれども当てが外れまして…。朝日新聞の星さんにおいていただくのはいつも夏で申し訳なく思っています。

去年夏、星さんをお願いしたときは、当時まだ菅直人政権で、後継には野田佳彦さんがいちばん有力とおっしゃっていて、それは正しかったですね。しかし、その後も日本の政治の状況はひどいままで。液化化現象と言ったらいいの、政党政治への不信も募るばかりです。それでは星さんよろしく願います。（拍手）

星 皆さんこんにちは。私は昭和54年、1979年に朝日新聞社に入りまして、もう30数年、政治記者という仕事をやってまいりました。肩

書きで言うと朝日新聞政治担当編集委員を十数年やりました。その前は政治記者として、自民党とか、外務省とか、首相官邸とかを担当してきたわけでした、自分の肩書きも「政治記者」というのがいちばんふさわしいかなと思っております。ですから、政治記者の仕事は今でもずっと続けています。

今57歳になりましたが、朝日新聞も定年というのがあります。60歳が定年ですが、最近65歳まで希望者は働いてよろしいということです。しかし、60歳を過ぎると待遇もいろいろあります。60歳以後の待遇は松竹梅ということで、年取いくらだとかいろいろ会社と交渉するらしいです。（笑）

そういう時期も近づいてきています。政治記